新年号 No.159

社協だより

平成31年1月1日発行

社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会
（東京都三宅島三宅村坪田3053）
TEL 04994－8－5888（代表）
FAX 04994－8－5892
IP 5−3155

新年を迎えて　会長　寺本恒夫

明けましておめでとうございます。皆様お揃いで新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、三宅島社会福祉協議会は法人化五十周年を迎えました。九月には、櫻田村長、東京都社会福祉協議会副会長の横山様をはじめ多くの方々のご参加をいただき記念式典を盛大に開催することができました。これもひとえに日頃よりご支援いただいている地域の皆様方のご協力によるものと感謝申し上げます。

振り返ってみますと、昭和三十一年に三村（三宅村・阿古村・坪田村）が合併し、新三宅村が誕生しましたが、その三年後には任意団体として「三宅島社会福祉協議会」が設立されています。昭和四十三年の法人化前を含めると、今年は設立から六十年目を迎えようとしています。

設立当時の三宅島は、天草景気で沸き返っていて、人口も七千人の時代です。年齢層も広く、子供たちや若者も多く暮らしていました。この当時、将来の福祉のことを考えて社会福祉協議会を立ち上げることはそんなにたやすいことではなかったと思います。しかし五十年経った三宅島の現状は、国を先取りした形で急速に高齢化が進んでいます。福祉の担い手として社会福祉協議会の責任も年々増していますので、その重責を果たすよう日々努力していきたいと思います。ただ、社会福祉協議会だけでやれることは限られています。幸いにして、近年各関係機関が医療・福祉の充実を図るべく、連携を密にするための各連絡会がもたれるようになりました。これは医療・福祉にとって一歩前進です。関係機関が連携し、力を集結することで島の福祉の充実を図る。このことこそが私たち福祉に関わる者の念願でした。この願いを叶えるべくご尽力いただいた関係者の皆さまには敬意を表したいと思います。

社会福祉協議会は三宅村民のものです。事務所も昨年四月から三宅村社会福祉会館（旧坪田保育園）に移り、業務を行っています。建物も明るく広くなりました。「いぶき」も同じ建物の中で活動しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。そしてどんな小さなことでも気軽にご相談ください。

2019年の年頭に当たり、法人化五十周年を一つの区切りといたしまして、先人たちの思いをより一層大きく膨らませていくために、皆様方のご支援、ご協力を頂きながら、役員・職員一丸となって三宅島の福祉事業に取り組んでいく決意です。

Twitter　更新しています！

みなさんフォローお願いします！

アカウント→＠mjshakyo

三宅島社会福祉協議会

社協のホームページも公開しています！
是非ご覧ください！

1/26
（土）

1月会食会のお知らせ！

メニュー

・お正月スペシャル御膳

・会場　伊豆避難施設
・時間　10時～14時
・参加料　500円

・申し込み先　三宅島社協（☎8－5888）

送迎の準備等がございますので、予約は1月17日（木）までに三宅島社協（石塚）まで電話予約をお願いします！

社協の求人情報！

社協非常勤職員募集中！

【主な業務】　利用者支援、事務、送迎　等
【勤務時間】　9時00分　～　17時30分までの間
内　7時間　（曜日時間は応相談）
【資格要件】　普通自免許
【待　　遇】　時給　1,000円

訪問介護ヘルパー募集中！

【主な業務】　清掃・調理・入浴介助等訪問支援
【勤務時間】　8時30分　～　17時30分までの間
（曜日時間は応相談）
【資格要件】　ホームヘルパー２級以上、普通自免許
【待　　遇】　時給1,250円

地域福祉権利擁護事業 生活支援員募集中！

【主な業務】　福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理の支援、手続き支援など
【勤務時間】　月～金のうち2時間程度
（登録勤務型、曜日時間は応相談）
【資格要件】　普通自免許
【待　　遇】　時給　1,000円（交通費別途支給）

お問い合わせ・申込みは、採用担当　齊藤まで
☎　8－5888　　IP☎　5－3155

職員紹介　「日々人生の勉強中」

平野未来

訪問介護ヘルパー３年目の平野未来（ひらのみく）です。
最近やっと仕事に慣れ、訪問先のお宅への道も間違わずに行けるようになりました。ご利用者の方々からは、身近なところでは掃除や料理、子育てについて、大きなところでは生き方についてなど、日々本当にたくさんの事を教えていただいています。その教えを忘れず、お役に立てるよう頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします！！

地権事業通信

特殊詐欺が増加しています！

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺き、指定した預貯金口座への振込やその他の方法により現金等をだまし取る犯罪者の総称です。

オレオレ詐欺や還付金等詐欺、架空請求詐欺などに加え、最近ではオリンピックに関連した投資詐欺やインターネットを通じて電子的に取引されるビットコインなどの「仮想通貨」の購入や投資の勧誘をめぐるトラブルについて報告が挙がっています。

被害総額は減少、認知件数は増加

全国における特殊詐欺の被害総額は、10月時点で約313億円と平成28年の被害総額約408億円と比べると減少傾向にある一方で、認知件数は10月時点で14,729件と既に前年度14,154件を上回る程、詐欺件数が増えています。

怪しい電話が来たら相談を！

様々な種類の特殊詐欺

- 架空請求詐欺
- 還付金等詐欺
- 融資保証金詐欺
- オリンピック関連投資詐欺
- 仮想通貨をめぐる詐欺

など

年末は金融機関や行政機関、福祉機関と連絡を取りにくい状況になるため、怪しい電話が来た時の確認が取りにくくなる時期です。

一方で年末は特殊詐欺の電話が来やすい時期でもあり、特に平成27年では特殊詐欺被害件数の1/4が11月及び12月の2か月間で確認されるなど、一層の注意と対策が必要です。

特殊詐欺への対策

1. 電話が来たら警察へ連絡
2. 家族と合言葉を決める
3. 行政機関や福祉機関へ確認

怪しい電話が来たら警察へ連絡する事や、日頃から家族と連絡を取り合い、特殊詐欺についても事前に合言葉やお互いの呼び方について打ち合わせをすることが対策となります。

また、行政からの還付金や福祉制度に関する怪しい通知については対応機関へ確認を取ることで被害を防ぐ事が出来ます。

怪しい電話が来た際は、周囲の人々や機関へ確認を取り真偽を確かめましょう。

福祉サービスや様々な制度の手続き、通知について疑問点がございましたら、

三宅島社協（8-5883）までご相談ください！

今月のボランティア募集

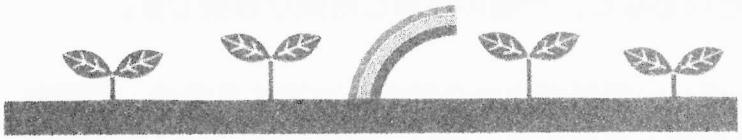
【地区サロンボランティア】

三宅島内では、認知症・転倒防止のためのサロンが各地区で開催されております。サロンでは、近くに暮らす住民と福祉健康関係機関などとの交流活動を行っています。サロンでは、会を支えるボランティアの募集も随時行っております。どなたでもご参加できますので、見学や活動内容の詳細を確認したい方は、各サロンまでお問い合わせください。

ボランティア活動をする方は、事前にボランティア活動中における事故やケガなどを補償するボランティア保険への加入をお勧めします。島内でボランティア活動を希望している方、活動する方に対し、社協ではボランティア保険料の一部助成を行なっております。（登録制）また、ボランティアを必要とする個人、団体などからの相談・受付をしております。ボランティア活動団体への助成金申請についてもご相談下さい。

【お問い合わせ先】☎　8-5888

Ｅメール mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp



【認知症・転倒予防のための木曜サロン】
日　時：毎週木曜日　９：３０～１３：３０
場　所：神着老人福祉会館
問合せ先：めぐりケアセンター
☎ 090-2655-1529　（前田）

【認知症・転倒予防のための阿古サロン】
日　時：毎月第１・３火曜日９：３０～１１：４５
場　所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

【認知症・転倒予防のための伊豆サロン】
日　時：毎月第２・４水曜日１０：００～１３：１５
場　所：伊豆老人福祉会館
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

【坪田常盤クラブ（月曜サロン）】
日　　時：毎週月曜日　９：００～１１：３０
場　　所：坪田福祉会館
活動内容：会場の設営・後片付け、参加者とのお話し相手、送迎・簡単な介助など
問合せ先：☎ 090-4541-9277（堀井）

【社協　高齢者ふれあい会食会】
日　　時：１月26日（土）9:30～14:30
場　　所：伊豆避難施設
活動内容：昼食調理、参加者のお出迎えや会サポートなど
昼 食 代：500円
申込〆切日：１月17日（木）
問合せ先：三宅島社協　☎ 8-5888

歳末たすけあい募金

12月1日より実施した「歳末たすけあい運動」は、地域の各商店等のご協力により、21日までの20日間、店頭に募金箱を設置させていただきました。赤い羽根共同募金に引き続き、地域の皆さまの心温まる募金がたくさん集まりました。歳末たすけあい募金の総額は、92,379円となりました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

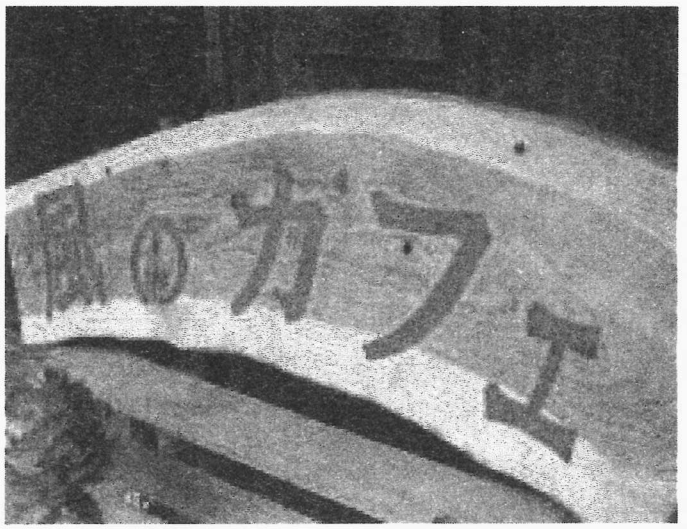
寄付金のお知らせ

11月28日～12月26日までの間に下記の方からご寄付いただきましたのでご報告いたします。ご厚志誠にありがとうございます。
福祉振興のため、大切に使わせていただきます。

・菊　地　英　治　様　より　　亡娘　：尚　子　様の香料より　社会福祉協議会運営のため。
・野　口　豊　秀　様　より　　亡母　：ロ　ク　様の香料より　社会福祉協議会運営のため。

地域の掲示板

“風のカフェ”
（認知症等介護者のためのカフェ）



『風のカフェ』では、ご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護を経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、一緒にご参加いただけます。

どうぞご一緒に楽しい時間を過ごしましょう。また、『風のカフェ』では一緒に運営していただけるボランティアを募集しています。コーヒーを淹れる、おしゃべりをする、ゲームを一緒にする、どんな形でも構いませんので、是非ご一緒していただければと思います。

次回開催：1月12日（土） 9:00 ～ 11:30 （毎月１回：土曜日）

次々回は２月２日（土）の開設を予定しています。

開設日は、村役場にご協力いただきIP告知端末でもご案内頂いております。そちらもご覧ください。

問い合せ：５－１４７０（みやけじま風の家）５－０９０４（三宅村役場福祉健康課 福祉係）

年始の行事予定！

12月25日現在の行事予定です。

三宅村成人式

1月3日（水）10：00～三宅村文化会館

三宅村消防団「出初式」

1月6日（日）11:00～ 神着湯舟グランド

三宅島警察署「武道始め式」

1月12日(土)14：30～三宅村コミュニティセンター

柔剣道連盟「鏡開き」

1月13日(日)10:00～三宅村コミュニティセンター

各地区船祝い

伊豆地区　9時

神着地区　10時

＊9時30分から木遣太鼓

阿古地区　12時

＊11時頃から阿古青年団がお汁粉配布予定

マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください

第15回
井澤庄一郎さん
の物語

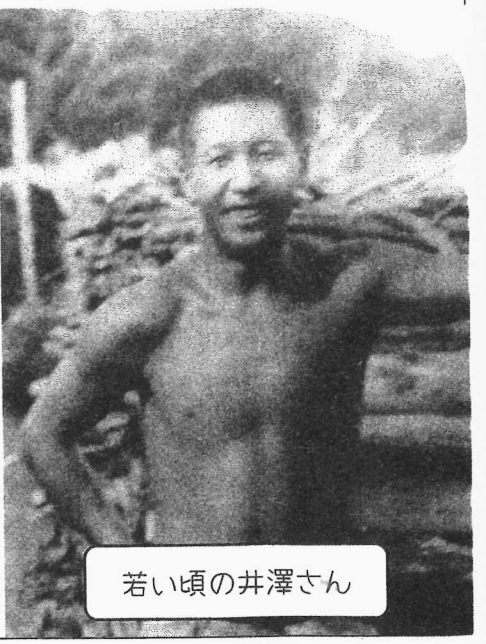
どんな目にあっても、海が大好きだよ。

坪田在住の井澤さん

大正15年3人兄弟の末っ子として坪田で生まれた井澤庄一郎さん92歳。末っ子で男の子ひとりだったので、わがままに大切に育てられた。父は几帳面で厳格な人だった。近衛兵（このえへい：君主を警備する君主直属の軍人または軍団の事）ラッパ手だった。母はとてもやさしい人だった。幼少の頃、夏は海遊び、冬は山遊び。三宅島のどんな季節も楽しんだ。家の手伝いもたくさんした。自宅で乳牛を飼育していて、坪田にあったバター工場に牛乳を持っていくのが庄一郎さんの役目だった。牛乳を背負い、学校に行く前にバター工場に行く、遅刻しそうになり、走ると牛乳が自分に降りかかる…そうなると、教室中、牛乳の匂いがして恥ずかしかったのを思い出すという。

15歳の頃、漁の仕事を始めた。最初の船は櫓船（ろせん：動力船ではなく櫓を使い、人力でこぐ船の事）でトビウオ漁を行った。最初は慣れなくて、手にまめがいっぱいできた。「チカラで乗り越えようとしたのは若さだね。」と庄一郎さんは笑った。毎日が新鮮だった。戦争が始まった。入隊を志願した。父は「勝手に一人で決めやがって！」と怒り、母はただただ泣いた。でも、自分ひとりで決めた。島内で入隊を志願したのは5名ほどだったという。海軍を希望した。新入りは訓練を受けたのちに戦場へ行く。3か月の訓練はとても辛いものだった。眠ったことのないハンモックで寝る。上官からの指導と言う名の暴力。毎日毎日、疲れ果てて眠った。訓練が終わり、機関兵となった。機関兵となった3ヵ月後に終戦となる。そして三宅島に帰島する。帰島後、海の仕事を再開する。豊かな三宅島の大好きな海のそばで庄一郎さんは家庭を築く。一男二女を授かった。民宿も始めた。「家族も大変だった。でも、家族がいたからできたんだと思う。もちろん、三宅島の人にも助けられた。船の仲間にも助けられたよ。助けられてばかりだな。」庄一郎さんは優しく笑った。

「ラッパ荘」という名は「父が吹くラッパの音色のように誰にでも強く、優しくあるように…」と願いが込められ名付けられた。とにかく海が好きだったが、怖い目にもあった。大きな波に襲われ手足の震えが止まらなかった。明日から海の仕事はやめようと思った。でも、次の日凪ている海を見たらやめられなかった。海を嫌いになんてなれなかった。海から離れることはできなかった。海軍に入隊して無事に帰って来られたのも、海が自分を守ってくれていたからかもしれない。とても優しい瞳で海の事を語ってくれた。「坪田のお父さんと言えば庄一郎さん！」とそんな言葉がぴったりくる方だと思いました。庄一郎さんのお父様のラッパの音色のような、強く優しいストーリーでした！急な取材のお願いも快く受けて頂きありがとうございました。大変感謝しております。笑顔は若い頃よりいい男！
これからも三宅島の海を大好きな庄一郎さんでいてくださいね。
坪田のお父さん、またお話聞かせてくださいね。強く優しいストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました。


若い頃の井澤さん